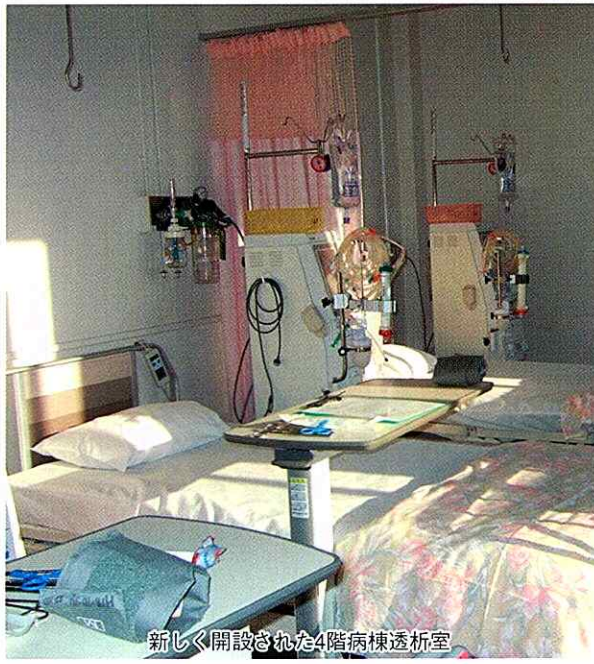




腎臓病地域連携室開設

玄々堂君津病院では常時500

人以上の維持透析患者さまに対して、通院透析ならびに各種合併症に関する治療を行っている。さらに、院内や大病院との協力による腎臓移植やそのフォローアップなど、病院の一つの柱として地域の腎臓病治療を積極的に進めてきた経緯がある。本年2月から、地域医療機関とスムーズに連携を取りながら腎疾患や泌尿器科疾患の患者さまの治療にあたれるよう、新たに腎臓病地域連携室が開設された。これにより、かかりつけ診療所や病院から電話一本で腎疾患に対応が可能となるとともに、専門外来の予約も出来るようになった。今後は腎疾患以外の疾患に対しても、近隣地区の医療機関とより一層の病診連携を図っていく予定である。



新しく開設された4階病棟透析室

4階病棟で透析稼働

2月1日より、透析患者さまの増加に伴い、4階病棟で4ベッド利用し、入院患者さまの透析治療を開始された。現在、毎日1クール（午前のみ稼働しているが、これにより8名の入院患者さまの透析が可能となる。4階スタッフと2階透析室スタッフの協力のもと、「安全」を第一に考えて実施すると共に、患者さまに「安心」して透析を受けていただけるよう努力している。

透析送迎バス試験運行拡大

2月19日より、玄々堂君津病院透析室と坂田クリニック透析室の患者さまを対象に、送迎バスの試験運行が拡大された。

新しく拡大された運行便は、月・水・金曜日は1クール午前と、2クール（午後）にそれぞれ1往復ずつ1日計4便、火・木・土曜日は2クール（午後）に1往復の1日計2

地域連携室を担当して



担当医師 横山のぶ子

口を設け活動を開始しました。病院として、他医療機関との連携を円滑に図り、患者さまに適切な医療サービスを提供することを目的としています。

地域連携室 横山のぶ子

他医療機関より腎臓内科外来受診を希望する患者さまの紹介があった場合には、患者さまの日程や希望時間に合わせた調整を行いご連絡致します。又、透析の移籍や転院紹介などのご連絡を受けたら担当医師や関連部署と相談の上、速やかに御紹介先医療機関へ報告、連絡する役割を担っています。院外からの連絡や受け入れ調整が迅速に行われるよう腎臓病関連の窓口電話は直通となっており、日曜祝祭日を除いて午前8時30分から午後5

便である。

現在、透析患者さまにアンケートを実施して現状の送迎サービスの評価をすると共に、今後の運行の参考にする予定である。

腎友会の学習会開催

1月14日、君津市健康福祉センターにおいて、腎友会の学習会が行われ、西井管理栄養士が、「透析食と動脈硬化」について、1時間の講演を行った。

透析食は長寿食に近いものと説明したうえで、①塩分と水分摂取量を守り適正血圧を維持する②リン摂取量を守り血管の石灰化を防ぐ③脂肪の量と質を考え粥状硬化を進展させない④糖尿病の方は食事を守り、血糖値を維持するなど、食事により進展する動脈硬化のリスクを減らすための「食事の基本」について、写真を多く交えながら説明を行った。

第14回安全対策講演会開催

1月27日、医歯薬会館において、帝京大学ちば総合医療センター・福家伸夫教授を講師に招き、「災害に強い病院作り」と題して講演が行われた。会場には138名の職員が参加があり、災害医療・災害時に医療機関の果たすべき役割について学んだ。（関連記事2面）

糖尿病教室開催

2月10日に第77回、3月10日に第78回の糖尿病教室が開催された。第77回は、23名の参加があり、西井大輔管理栄養士から「健康食の基本」食事とリズム」について、伊藤広美看護部主任から「検査について」のテーマで行われた。第78回は、12名が参加し、小泉管理栄養士による「低カロリークッキング」のテーマで調理実習が行われた。本来、高カロリーである中華料理の餃子・酢豚・デザートなどにひと手間かけて、低カロリーに変えたメニュー5品を調理した。（関連記事3面）

第19回看護研究発表会開催



実行委員長 秋田 かずみ

3月4日、かずみアカデミアホールにおいて、看護研究発表会が行われた。1年に1度行われるこの発表会は、今回で19回目を迎え、今年も筑波大学大学院人間総合科学研究所看護学系助教授の三木明子先生のご指導のもと、4題の研究発表があった。どの研究グループも、1年間取り組んできた研究の集大成となるため、緊張の中にも、自信に溢れた発表と

第36回 被保険者ボウリング大会 4位入賞

3月11日、千葉リバーレーンにて、千葉県医療健康保険組合主催のボウリング大会が行われた。団体戦の参加は、1チーム5名で29チームエントリーされた。個人戦では男子123名、女子109名エントリーで、その他壮年の部もあり、合わせると470名参加という状況で盛況に大会が行われた。当院から14名の代表が参加した。団体戦では、総務科石嵩・リハビリテーション科唐川・薬局住沢・看護部木村（純）・クラーク近藤5名が参戦した。結果は過去大会最高記録の4位入賞を果たした。個人戦では、上位5名がわずかに数ピン差という大接戦となり、石嵩が2位、唐川が4位入賞するなど参加メンバーの大健闘の大会であった。



入賞メンバー

荻野副院長講演「職員の健康管理」

2月21日、坂田研修室において、衛生委員会主催で職員の健康管理をテーマに講演会が開催され、メタボリックシンドロームについて、荻野副院長が講演をされた。会場には40名の参加者で、ウエストやコレステロール・血圧・血糖等の数値で診断基準値が示され、健康管理について学ぶ機会となった。

入社式

4月2日、坂田クリニック研修室において、23名の新入社員を迎え、平成19年度入社式が行われた。続いて新入社員オリエンテーションが2日間行われた。

オリエンテーション1日目には、玄々堂君津病院の概要、病院勤務者の基本心得、先輩の話、就業規則などが説明された。2日目には接遇研修や救急法について実技訓練を実施した。グループワークにおいては、活発な意見が出され、新入社員の意気込みが感じられた。

中学生職場体験学習

1月24日から26日、君津市立八重原中学校の生徒3名に職場体験学習が行われた。病院内のオリエンテーションや、ナースエイド業務、栄養科、薬局、リハビリテーション科の見学をした。この職場体験を通して、将来を考える良い機会になったという意見が述べられた。

第1回 被保険者バレーボール大会 優勝!!



大会優勝 玄々堂君津病院バレーボール大会

大会は健康組合主催の被保険者バレーボール大会であり、場所はJFEバレーボール体育館で全36チームのトーナメント戦であった。その中で当院のバレーボールチームがみごと優勝を果たした。今大会は第一回大会でルールや試合形式も初めての試みである。六人制男女混合（男子は同時に2名まで出場可）男子のプレー制限はなし。第1回戦は昨年11月26日に行われ、ゆうあい会と対戦し2対0で勝利した。2回戦・3回戦、決勝が3月25日に行われた。決勝へ向けて益々選手の士気も高まり、2回戦は学術会、3回戦は船橋北病院、更に準決勝は名戸ヶ谷病院に勝ち進み、決勝戦は浅井病院と戦った。瀧澤キャプテンを筆頭にチームとしてまとまりは群を抜き、男性に攻撃が偏りがちな状況の中、女性メンバーが大変な活躍を見せた。出場チーム中、最も良い雰囲気バレーボールが出来たことが勝因の一つかとメンバーは口を揃えて語っていた。

部署紹介コーナー

～栄養科～

前回から部署紹介コーナーを開始しました。その部署で働いている職員の顔と氏名をお分かりいただくためです。

今回は、患者さまと職員の食事を担当している栄養科の職員を紹介します。



私たちが患者さまの食事を担当しています。

栄養科科長 城之内 清美

栄養科のスタッフは総勢25名です。年齢は20代から60代と幅広く、時には親子(？)の会話で話が弾むことがあります。主な仕事内容は、入院患者さま・職員への食事提供と入院・外来患者さまの栄養管理および栄養食事指導です。

私達は一人ひとりの患者さまに対応した、安心で温もりのある食事の提供を理念とし、患者さまに毎日の食事を安心して、心から喜んで召し上がって頂けるよう、日々努力をしています。また、管理栄養士だけでなく医師・看護師・薬剤師・検査技師・理学療法士など他職種の方々と協力し、患者さまに適切な栄養管理・食事指導を行っています。

スタッフ一人ひとりの個性・能力を生かし、働きがいのある活気ある職場を目指しています。毎月行っている勉強会での調理師からのメニュー提案もその中のひとつです。また、料理は一人ではなく、何人も



私たちが職員の食事を担当しています。

安全対策 講演会開催

「災害に強い 病院作り」

1月28日に開催された第14回安全対策講演会。今回は、災害に強い病院作りをテーマに、福家伸夫先生を講師にお招きし、お話しを頂いた。

その講演の要旨を紹介する。

1、災害医学とは

災害によって生じる健康問題の予防とすばやく救援・復興を目的として行われる応用化学。災害医療の目標は避けられた死をゼロにすることである。

2、医療機関の果たす役割

①医療サービスの提供
トリアージの重要性。治療の緊急度に応じて患者を振り分け、軽症患者の外来治療、重症・中等症の入院治療などを的確に行う。

3、病院の機能を保つ

- ①マンパワー
- ②安全を確保できる空間(廃棄物処理を含む)
- ③電気、水、空調、医療器材、薬品等の災害発生時に備えた、備蓄管理
- ④組織としての統一性(指示命令系統の維持)
- ⑤被災地内、被災地外との連絡手段の確保

4、レスポンス・リタリング

災害の形態により医学的対応は異なってくる。研修やセミナーに参加し勉強することも大切だが、さまざまな事例を想定し、ホワイトボードを用いた机上演習や模擬訓練を行い、普段から災害に対して備えておくことが大事である。各部署・職種によって災害時におけるべき対応をマニュアル化しておくことも対策の一つである。

ボランティア活動ニュース

平成19年3月23日、坂田クリニック研修室においてボランティア学習会および交流会が行われた。平成18年度最後の学習会には、24名のボランティアの参加があった。

内容はまず、鳥飼看護部主任による健康講座「スタボリックシンドローム」で、みんな興味津々に話を耳を傾けていた。標準体重を出す計算式が紹介されると、早速自分の標準体重を計算し、あちらこちらで「痩せたよ」「ちよいと太い」と声があがっていた。

続いて2月に伊豆へつるし飾りをつるし飾りを見学に行った様子をス

最後に活動継続5周年表彰と平成18年度活動50時間表彰が行われ、永島院長からひとり一人に感謝状が手渡された。



つるし飾り

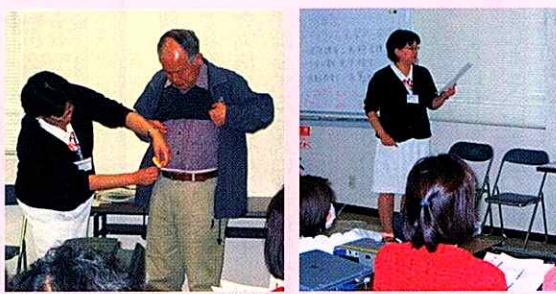


永島院長より感謝状が渡される

た。今年度5周年を迎えるボランティアは3名、50時間以上の活動をしたボランティアは19名であった。

多くのボランティアの活動が院内のそここで定常の風景となってきた。

平成19年3月現在の活動登録者は115名。それぞれが自分の出来ることをできる時間に活かしてくれている。



鳥飼看護部主任による健康講座

クローズアップスタッフ

Produced by M.KOIZUMI

Q・「この仕事をして良かったこと」について、管理栄養士、栄養士、調理師に伺いました。池座管理栄養士・病態に応じた制限食の中で、入院中でも季節感を感じられるお食事が出せることや、病棟訪問で、患者さまの病状・嗜好を考慮しながらの対応の中で、食事の時間が楽しみという声が聞けると嬉しいです。栄養相談では、食生活の見直しができるように患者さまと一緒に考え、「ありがとう」の笑顔と心の温かみを感じられた時にやりがいを感じます。

津幡栄養士・保育所の子どものおやつを週1回、手作りで提供していて私が作ったおやつを子ども達が「おいしいー!」と言って喜んで食べてくれます。「また作ってね」と元よく言

今回は、部署紹介コーナーから各業務に携わる若手3人にクローズアップして紹介します。

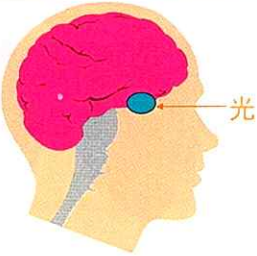
鈴木調理師・栄養科では、患者さま一人ひとりに合った食事を提供するので、患者さまから「今日のご飯、美味しかったよ!ごちそう様!」と感謝されると、この仕事をして良かったと思えます。また私はあまり調理に携わっていませんが、これからこの職場で色々な料理が覚えられることが楽しみです。また更に、患者さまに喜んでもらえる食事作りができるように頑張りたいと思います。

【図1】

体内リズム維持には 光と食事が重要です

朝の光を浴びる

朝日を浴びて体内時計をリセットしています。



食事を規則的に摂る

食事時間が不規則になると体内時計が「ズレ」ます。3度の食事を規則的に摂りましょう。



糖尿病教室

毎月第2土曜日に行われている糖尿病教室をご存じですか。その内容を御紹介します



健康食の基本とリズム

栄養科管理栄養士 西井大輔



食事療法の分野では「何をどれくらい食べるか」を優先して、「食生活」や「生活習慣」について考えることが少ないように思います。そのために、「食べもの」に対する知識はあっても、それが上手く活用できていない方が多く見受けられます。「良い食べ方」を実践するためには、食べるという行為のみに留まらないで、少し広い解釈が必要です。その一つが、規則性を持った生活習慣の実践です。すなわち、食事と生活習慣は、とても強いつながりがあることを認識すべきだと考えます。今回は、生活リズムと食生活に焦点を当ててみました。

人は朝が来れば自然に目が覚め、夜になると眠くなるなど、自律神経の調整やホルモン分泌などにもリズムがあることが知られています。これは体内時計の一般的な現象を示しています。現代社会は本来の生活リズムが崩れやすくなっています。そのひとつの原因に夜型人間の増加です。夜遅くまで起きていたり、睡眠時間が短くなったりすることで徐々にリズム異常を来し、ストレスが増大しやすくなります。夜型人間に見られる生活パターンを挙げると以下のような例が考えられます。就寝時間が遅い→夜食を食べなくなる→血糖上昇→夜食を食べたので朝食は食べたくない→朝食を食べなかったので間食が欲しくなる→朝から眠く、日中に活発な活動が出来ない(運動不足)→間食をしたので昼食は軽め→また、間食が欲しくなる→昼寝をしたくなる→夕食は多め→昼寝もしたし、テレビも見たので早く寝るなんてもつたない。といった具合です。睡眠不足が加われば、慢性疲労が加わり、食事に気を配る余裕がなくなり、また、ストレス(おやつ、脂っこい食事、塩味の濃い食べもの)を早食いするも助長する可能性があります。早寝早起きを基本にした生活習慣を取り戻す工夫を【1】(※左上図)に上げてみました。もう少し説明を加えると、以下のようになります。

1. 体内時計の調節は、朝日を浴びる事によって調節されていると言われております。朝スイッチをONにするためにも、早起きを心がけましょう。
2. 朝食を食べる事によって、体内時計の調節を後押しします。
3. 食後の歯磨き習慣は、間食を防ぐ効果があります。特に糖尿病の人は、歯周病になる人が多く、歯周病が進むと、インスリン抵抗性が強くなり、血糖が悪化したり、動脈硬化を進めてしまします。食後の歯磨き習慣を身につけましょう。
4. 日中に体を動かす事で、生活リズムにメリハリをつけることが出来ます。このことにより、間食癖をなくしたり、必要以上の昼寝を妨げます。
5. 間食は肥満を助長するだけではなく、リズム異常にも大きく影響を与えるので、なるべく控えましょう。

6. 早食いは、咀嚼がおろそかになるため、満腹感を感じないままに食べ過ぎてしまいます。一口30回は咀嚼しましょう。

7. お酒を飲むと、食事時間が長くなり食事が多くなります。また、睡眠が浅くなるなどの問題があります。

8. 夜食を摂ると、肥満の原因になります。また、体内時計が夜型になってしまふことが知られておりますので、止めましょう。

9. 早寝は、夜食防止にもなりませぬ。この機会にぜひ、ご自分の生活習慣を振り返り、規則正しい生活を心掛けてみてください。

定期的な検査の必要性

外来 看護師主任 伊藤 広美



今回は、糖尿病の検査についてお話しします。糖尿病の診断には血糖検査、ブドウ糖負荷試験により、確定診断します。診断後は、血糖、過去1、2ヶ月の血糖のコントロールがわかるHbA1cを検査します。自分でできる検査として、尿糖、簡易型血糖測定器で自己血糖測定も可能です。又、簡単な体重測定は、太りすぎを防止する意味で役立ちます。その他には、臓腑の働きを調べる検査も必要です。合併症の検査として、眼底検査、尿中アルブミン測定、腱反射テ

日々の継続した有酸素運動

リハビリテーション科 小林 好信



糖尿病の運動療法の最大の目標は、インシュリンの感受性を改善することにあります。運動による筋肉への糖の取り込み促進は、インシュリンの作用と加算効果があり、運動を行うことで食後血糖値の上昇程度がより小さくなります。さらに、その効果は、運動終了後も2、3日間にわたって持続すると言われています。また、同時に減量を目指す場合は、筋肉の減少量を抑え、基礎代謝量の低下を予防するためにも運動は重要となります。運動は誰でも行つてよいという訳ではなく、合併症を有する方や空腹時血糖値が200〜250mg/dl以上、もしくは日中の血糖値が300〜350mg/dl以上の方は、事前に医師に運動を行つてよいかを確認して頂く必要があります。

運動中の基本はウォーキング等の有酸素運動となりますが、いくつかの注意点が有ります。まず運動の強度は「中等度」で、運動をしていて「気持ちよく、楽に動ける」という感じから「汗ばんでくると自覚出来る程度」となります。一般的には運動強度の目安として、運動中の心拍数が用いられます。30歳代で120回/分、40歳代で115回/分、50歳以上では110回/分、60歳以上では105回/分、70歳以上では100回/分、80歳以上では95回/分、90歳以上では90回/分、100歳以上では85回/分を目安とします。

血糖が下がる効果はつきりとして現れるのが運動開始後10分を経過してからという点を考慮すると、運動は20〜30分継続して行うことが重要となります。また、運動は日々の継続が一番重要となります。運動強度は週3〜5回で皆さんそれぞれのペースに合わせて無理のない範囲で行つて頂ければと思います。

コピエイク

渡邊 詔子

私の父は79才、母は77才、今年1月2日に、タキシードとウエディングドレスを着て結婚式と金婚式の祝福を受けました。父が高校の剣道部顧問として三十数年間指導を行ったOB会での企画でした。両親は結婚時に披露宴を開いてなかった事もあり、私の結婚披露宴の時、母が「こんな綺麗な花嫁衣裳が着れて幸せね」とつぶやいたことがありました。金婚式の招待状を見た時、ふとその時の言葉が頭をよぎりました。サプライズ企画として提案したところ、OBメンバーよりタキシードやウエディングドレスを準備していただき、竹刀を使

ったキャンドルサービスやプロジェクターXに、負けないほどのDVDを作成していただき、宴会の中で放映され、心のこもった手作りの式で祝っていただきました。タキシードとドレス姿の父と母は、一見天才コンビかとも思われがちですが、父は教養の気持ちはありますがたいと大喜び、母は顔の皺をはずかしがっていましたが、母の顔の皺を見て、私は感謝の気持ちでいっぱいになりました。今更ながら父の偉大さを感じられた1日でした。



私は77才の花嫁!!

糖尿病専任看護師

鳥飼 紀子



私はこの春より、糖尿病専任看護師として活動することになりました。インスリン注射や自己血糖測定の指導をはじめ、糖尿病教室では、荻野先生を中心に、薬剤師・管理栄養士・理学療法士とチームを組み、新しい情報を届けていく予定です。糖尿病は、生活習慣の見直しと血糖コントロールが重要な疾患ですが、患者さまは仕事の都合で不規則な生活を送る方が多く、食事や運動の面でサポートが必要となります。一緒に問題を拾い上げ、その方のライフスタイルにあった「よい糖尿病の付き合い方」を考えたいと思っています。糖尿病外来に勤務しておりますので、お気軽に声をおかけください。

今後の糖尿病教室予定

- 第79回 6月9日(土) PM1:30~3:00
 - 管理栄養士「塩のうまい話」
 - 理学療法士「糖尿病の運動療法」
 - 看護師「糖尿病ってどんな病気?」
- 第80回 7月予定
 - 医師「糖尿病・基本は食事から一あなたの知識、本当に正しい?」
 - 薬剤師「糖尿病のくすり」
 - 管理栄養士「栄養効果を高める食料のとり方」
 - 看護師「こんなに大事・足のケア」
- 第81回 9月8日(土) 時間未定
 - 管理栄養士「腸の環境を整える食事」
 - 理学療法士「日常生活と運動療法」
 - 看護師「検査値の読み方」

※お申し込みは、随時外来中央カウンターで受け付けています。
※都合により日時・内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

人事往来

【人事】

- 看護師長 長尾 眞由美 2月1日付
看護師主任 中尾 薫 2月1日付
看護師主任 金山 幸恵 2月1日付
保育士主任 緒形 佐和子 2月1日付
放射線課主任 武田 和彦 2月1日付
総務課長 宮本 弘幸 4月1日付
総務課主任 石崎 照彦 4月1日付
総務課運転係主任 伊藤 栄 4月1日付

【異動】

(1月2日~4月1日まで)

()内は旧所属部署

- 外来 岡崎 弘子 副看護部長 (3B病棟)
地域連携室 横山 のぶ子 看護部長 (外来)
4階病棟 森 栄子 看護部長 (3A病棟)
2階病棟 鈴木 明美 看護部長 (4階病棟)
3A病棟 加藤 久美子 看護部長 (2階病棟)
総務課 小倉 佳代子 (医事課)

【新入職員】

(1月2日~4月1日まで)

- 医師 永鷹 薫 (4/1~)
医師 鈴木 理之 (3/1~)
看護師 有田 綾子 (1/1~)
看護師 山下 智美 (2/1~)
総務課 大石 健一 (2/1~)
医事課 栗田 芳毅 (3/12~)

平成19年度 ~新入職員紹介~



二ツ神 由香 永井 千恵子 鶴田 千恵美 高吉 由香 芝野 佑紀 小田 智香 植村 みゆき

看護師



藤本 夏美 園田 絵理 鈴木 麻友 吉田 久仁子 麻生 美喜 米元 ゆかり 八木 佐友里

准看護師



宗島 千秋 島 邦夫 白鳥 真代 渡邊 道子 布良 紫穂 草野 美帆 小坂 彩子

放射線技師

薬剤師

ナースエイド



福坂 孟寿 伊澤 司 関 由紀恵

事務

保育士

平成19年度の互助会幹事長を務めた濱田志信です。この大きな大任を仰せつかり、大変責任...

平成19年度 幹事紹介

幹事長 濱田 志信

の重さを感じております。本年度も新人歓迎イベントには始まり、多数の病院行事が予定されて...

- 幹事長 濱田 志信
副幹事長 渥美 宏
幹事 内川 春美 山岸みさえ
星野 嘉代 穴倉 陽子
明石 恭子 松田 良子
谷田 正明 伴野 華子
鈴木 雪恵 及川 文子
北尾 愛

幹事会新メンバー

編集後記

- 他の人の努力、苦闘を見逃さないそんなリダーになりたい。(5/3)
新聞記者になったつもりで楽しめたい。(5/3)
今年度も新たな気持ちで頑張ります。(5/3)
今年も、楽しみだなあ。(5/3)
今年もみんなと力を合わせて楽しくやりたい。(5/3)
1年って早いですね。気づけば新年度が始まっている感じです。(リライ)

サタイトルは "いちご"
春ですね。いちご狩りのシーズン到来です。千葉県、特にこの南房総では色々な所でいちご狩りが楽しめます。皆様はもう行きましたか?自分で摘んでその場で食べるいちごは、お店で買って食べるのとまた一味違っておいしいものですよ。
ところで、いちごはビタミンをふんだんに含んだ食品というところをご存じでしょうか?特にビタミンCを多く含んでいます。ビタミンCは人間の体内では合成されず、毎日補給しなければならぬ栄養素のひとつです。一日に必要なビタミン...



今年度のメニュー

玄々堂津病院 平成19年4月 外来担当医師診療予定

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and rows for various medical departments (一般外来, 呼吸器科, 神経内科, 血液内科, 循環器科, 内分泌・糖尿病, 腎臓外科, 泌尿器科, 整形外科, 泌尿器科, 外科系専門科, 医師別外来).

※1 高田名譽院長の外来は8:45~となります。
※2 荻野副院長の外来は8:30~10:00迄となります。
※3 永高院長の外来は8:30~10:30迄となります。
※4 高田名譽院長の外来は9:30~となります。
※5 土屋医師:19日は休診となります。
※6 土屋医師:20日は休診となります。
※7 平野医師:27日は休診となります。
※8 永高院長:16日は休診となります。
※9 茅野医師:3日は休診となります。
※10 根津医師:5日は休診となります。
※11 津野常大病院教授:27日は14:30迄となります。
※12 竹田医師:7日・21日
※13 菅野医師:糖尿病外来は21日(土)となります。
※14 4/7佐藤医師・松井医師 4/14高橋医師・十字医師 4/21松井医師・岡田医師 4/28高橋医師
※15 橋本医師:7日 小林医師:28日

私のおすすめ図書

前回より病院職員による「私のおすすめの図書」コーナーを作りましたがいかがでしたか。職員によるパントリー方式で紹介しています。今回は「宇宙を貫く幸せの法則」です。
東京都深川生まれの心理学博士、社会学博士、教育学博士の小林正親氏が、平成18年11月に発行し話題沸騰中の本を紹介しています。宗教者ではなく、唯物論者の立場で、宇宙には、ある種の方程式があることを発見したお話しです。30年来、超常現象や人間の潜在能力に関心を抱き、その因果関係を研究した結果をまとめたもので、幸せに関する100の法則が書かれています。

